



赤ちゃんは泣いてもどうして涙が出ないの

涙は涙腺（るいせん）で作られる

目の上の耳側にある涙腺とよばれるところで、涙は作られます。ここで作られた涙は、目の表面をうるおして、鼻側にある「涙のう」や管を通して鼻へ流れていきます。

涙は目についている小さなごみなどを流して、目をきれいにします。

まばたきをすると、涙が目の全体に広がり、一部はじょう発しますが、残りは鼻へ流れていきます。

あまりにも悲しくて、大泣きすると鼻水が出てくるのは、たくさんの涙が鼻へ流れてくるからです。

赤ちゃんは涙を流す機能が、よくはたらかない

生まれてから2～3か月の赤ちゃんは、泣いてもほとんど涙を流しません。

これは、涙を作る涙腺をはたらかせる脳の機能が、十分に発達していないため、涙が出ないといわれています。

3～4か月たって、動くものを目で追いかけて見ることができるようになるころ、脳の機能もはたらい、涙もたくさんでようになります。（監修 保志 宏）

